

## 令和4年度 射水市食育推進会議 会議録

日 時 令和4年11月10日（木）午後1時30分から2時50分

場 所 射水市大島分庁舎3階大会議室

出席者 射水市食育推進会議委員〔8名〕

木田委員、福田委員、稲垣委員、尾上委員、尾山委員、加治委員、犀藤委員、佐藤委員  
射水市食育推進会議幹事会〔11名〕

小見福祉保健部長、轟福祉保健部次長、京角市民生活部副参事・環境課長、菅原政策推進課長、  
明野生活安全課長、明保険年金課長、大居子育て支援課長、高岡保健センター所長、  
久々江観光・定住課長、遠藤農林水産課長、星野学校教育課長

### 議 事

(1) 射水市の食育関連事業の実施状況について（資料1・資料2・資料3を説明）

(2) 射水市食育推進計画の数値目標について（資料4を説明）

#### 意見交換、質疑応答

##### 【会長】

資料3の保健センターのライン配信だが、取り組みとしてよい。若いお母さんたちもよく利用していると聞いている。更に視聴数は増やしていく予定か。

##### 【保健センター】

視聴数を増やすことを目的に配信している。またいろいろな方法で紹介し、視聴数を増やしていきたい。

##### 【会長】

乳幼児健診に来ているお母さんたちに登録してもらい、保健センターからラインで情報提供をするという形があれば、とても親切だと思う。特に若い保護者は今の時代、携帯電話の情報アプリはスムーズとよく聞くので、LINEはぜひ続けていただきたいと思う。

##### 【保健センター】

ぜひ健診の機会を捉えて、お母さん方にも普及していければと思う。

##### 【会長】

資料3の3ページ保険年金課に関する報告で、外出の機会が少ない高齢者等が自分の健康状態を理解し、フレイルを予防する行動をとることができるように支援することは大切な事業だと感じている。

フレイルというのは身体的フレイル、精神的フレイル、社会的フレイルがあり、ウィズコロナで一番ダメージを受けているのが社会的な面での弱さではないかと言われている。高齢者が事業に参加することが社会的フレイルを予防していくということにもつながるので続けるべき。また認知症予防にもつながると思う。

##### 【会長】

資料3の5ページ農林水産課、この写真は、葱の袋詰めの写真か。写真を市民の皆様提供する時はわかりやすい写真が使われた方がいいと思う。

その関連で6ページ観光・定住課のところ、ディナーは8,900円だがこの写真は何か。

### 【観光・定住課】

これは、「トヤマバー」で提供している特選おつまみの蒲鉾と白エビの空揚げと鱈寿しだと思う。

### 【会長】

医師会が関わっている事業のすこやか教室では、毎年小学校4年生全員の採血をしている。要医療、経過観察となった中で希望者にすこやか教室を実施するが、コロナ禍のため中止している。要医療でも医療機関にかかっている人がおり、グレーゾーンの方がすこやか教室に参加する以前に要医療の子がおいでいわれている。学校心臓健診で要医療となった場合は保護者の方がすぐ子供を医療機関に連れて行き受診率が高い。しかし、すこやか健診では要医療となっていたとしても受診に繋がらず、若いうちからの脂質異常症や家族性高脂血症などの緊急性が保護者に伝わらず、緊急性や予防を啓蒙している。今年度もすこやか教室に関しては中止になると思うが、来年度はできれば開催していく方向で考えている。

### 【委員】

学校給食は、射水市はセンター方式と自校方式があるが、大規模校と小規模校の給食の残飯について統計をとっているか。

### 【学校教育課】

現在は給食残渣について課の方では把握をしていない。

### 【委員】

学校給食を担当している。各学校では毎日残ったものを量り、どれぐらい残っているか、何パーセントの残菜残飯があるかということは把握している。年に2回栄養報告書があり、1週間の献立の中で何%の残菜があるかということは、市へ報告している。

### 【会長】

ほかに質問なければ、各担当の部署で活躍している委員の皆様から一言いただきたい。

### 【委員】

コロナ禍になり黙食のため残菜が多くなったのではないかという報道がある。みんな前を向いて静かに食べるため、楽しい給食時間という感じではないが、食べることに集中できる、静かに食べるということもあり、コロナ禍で残菜が増えたという印象はない。

資料4の数値目標の朝ごはんについて、学校では9月に毎日しっかり朝ごはん運動を実施しており、「朝ごはんをしっかりバランスよく食べよう」と、朝ごはんの良いところを毎年指導している。数値が悪くなっているが、この3年間ほどコロナ禍のため保護者対象の給食試食会を実施できなかった。試食会では、保護者を対象に学校給食のことを説明するとともに、朝ごはんの大切さということを指導している。若い世代が朝ごはんの欠食が多いという話もあり、保護者がしっかり朝ご飯を食べる習慣がつけば、子供たちも食べる習慣がつくと思う。

### 【会長】

朝ごはんなど食事に関しても、やはり保護者の影響というのは大きいと思うが、その保護者に情報を伝えるのが難しい。学校だよりなどで保護者へ情報を発信していくことも大事だといつもこの場で議論している。

### 【委員】

コロナ禍のために、ずっと続けてきたカニ給食を子供たちに食べさせてあげられず、とても心を痛めていたが、今年は給食にカニを出してあげられてよかった。地域の方からもカニ給食を期待され、子供たちが喜んで食べている様子を見て喜んでいる。

### 【委員】

コロナ禍のため、なかなか子どもたちを集めて体験することができなかったが、畑で収穫された葱を包装して出荷する体験をした。また、ブロッコリーの栄養や料理について伝え、ブロッコリーを使った弁当を女性部で作製、持ち帰ってもらった。さらに、SDGsの一環として女性部で古い傘の生地を使ってエコバックを作り、それに葱やブロッコリーを詰めて持ち帰った。今年はコロナの感染状況を見ながら、3回実施した。さつまいもの収穫期に、子どもたちが収穫したさつまいもを使って弁当を作り、持ち帰った。また、傘で作ったエコバックに収穫したイモを入れて持ち帰った。

### 【委員】

心身共に健康であるということに対して、食が果たす役割は本当に大事だということをつくづく子供たちと接しながら感じている。食に関する健康や心にまつわることの大切さをどのように子供たちに伝えるかが大事であるという責任も感じているが、その学校給食の果たす役割の大きさとともに、給食が地域の皆様に支えられていることに対する感謝の気持ちも伝えていきたいと思う。

地場産の給食や、食の果たす役割の中でも大事なことはたくさんあるが、おいしくバランスよく食べたり、安全安心であるということと同時に、楽しく食べるということも今本当に重要と思っている。黙食ということで、なかなか楽しんで食べられない状況はあるが、各校では放送をかけたり、音楽を流したり、クイズで楽しい気持ちになるという方法も試みている。

気掛かりなこととしては、朝ごはんは摂取率よりも、その質や、孤食であるという場面が大変多い。射水市は「あったか家族」が広まりつつあるが、家族と一緒に食べているという子供たちが少ない。たまに「テレビを消して一緒に食べて楽しかった」といった記述が現れると、子供や保護者が忙しい中で一緒に食べるという体験は学校でも大事にしたいと考えている。孤食ではなく、一緒に食べる中での会話でマナーを身につけるからこそ、お互いに楽しく食べられるということも今後考えたい。

### 【会長】

給食、保育園幼稚園や、小学校中学校の給食は、小児科医の立場からとても助かる。体重が増えないお子さんが、家では食べないが、学校では友達と一緒に食べることでしっかり食べ、栄養バランスも考えられている。無理やりではなくできる限り本人に合わせ、楽しく食べられれば良い。

若い世代の男性に食育の情報を伝えるのがなかなか難しいところだが、何かアドバイスやご意見などお願いしたい。

### 【委員】

資料3の1ページ、保健センターのライン配信は素晴らしい取り組みだと思う。SNSは無料で有効な広報手段であり、全課が取り組むとよい。取組んだ以上続けなければならないが、ぜひいろいろな取り組みをしてほしい。

2ページ、学校教育課の「ゴーセイな日」では、呉西ブランドの発信に努めているが、ぜひ続け、より射水市のものを使うと、地域のためにもなると感じた。

6ページ、観光・定住課の取組について、富山はま作さんは射水にも縁があり、ぜひメニューを定着化できればと思う。コロナが減り東京から来る人に射水が選ばれるよう、ぜひメニューの定番化を目指していただきたい。

各担当課が食育に関して係わっているのが、非常に良い取り組みだと思う。射水青年会議所はベビーファースト運動など日本全国でやっているが、青少年育成事業など実施しているので、関係できることがあれば、ぜひ進めていきたいと思う。

**【会長】**

最近の若いお父さんたちは頑張っていると思う。お父さんにもラインを登録してもらえば、こまめに見たり、食に関しても今までと違う反応が出てくると思う。

**【副会長】**

食改としても、フレイル予防などいろいろなことに取り組んでいるので、皆さんの意見を聞き、射水ならではの地場産業や食育を取り入れて進んでいくということは本当に大切なことであると痛感した。

**【委員】**

計画に基づいて実施しているので、少しずつ前進して実績として見られる。コロナ禍での活動が大変なので、その面でも市のほうで努力していただきたいと思う。

**【会長】**

本日の会議は途中経過の報告と、それに対する意見という形で進めたが、このウィズコロナの時期に行政は頑張っており、各団体の皆さんもそれに協力して頑張っている。医師会の方もできる限り、このウィズコロナの中協力して頑張っていきたいと思う。いろいろな意見に関しては事務局の方で活かしてほしい。